地域課題の解決へ イオン株式会社と包括連携協定を締結

協定書を掲げる（左から）イオンビック株式会社長野中南信営業部の桐山部長、中山市長、イオンリテール株式会社中部カンパニー長野事業部の草野事業部長

市とイオン株式会社は6月24日、包括連携協定を結び、市役所で締結式を開きました。災害時の連携やイオン豊科店でのデジタルサイネージを活用した行政情報の発信など、これまで取り組んできた分野に加え、若者支援や地産地消など幅広い分野で連携することにより、地域活性化と市民サービスの向上を目指します。

締結式で中山市長は「イオン株式会社の持つ全国的なネットワークや経験・知見を生かすことで、より効果的な取り組みが可能になる」とあいさつ。草野多香恵事業部長は「従来の取り組みをさらに拡大し、地域課題の解決と地域社会に貢献したい」と連携の強化を確認しました。

多くの人でにぎわった南農マルシェ

6月26～28日には連携事業第1弾として、改装オープンしたイオン豊科店で南農マルシェが開かれました。当日は、南安曇農業高校の生徒が考案し、地元企業が製造した台湾カステラと冷凍おこわを販売。同校の生徒も店頭に立ち、訪れた人に安曇野の特産品を使ったオリジナル商品の魅力を伝えていました。店頭に立ったグリーンサイエンス科3年の髙山実央さんは「高校からも近い身近な店舗で、商品を知ってもらえる貴重な機会になった」と話していました。

Topics 移住と地域をつなぐ架け橋へ　地域おこし協力隊員が着任！

小林 祐生（ゆうせい）さん（31）

移住定住をサポートする地域おこし協力隊員として、7月1日に着任した小林祐生さんに移住のきっかけや活動への抱負を聞きました。

安曇野暮らしを発信して 人と人を結びたい

神奈川県藤沢市から家族で移住しました。澄んだ空気や景色はもちろんですが、旅行で訪れた農家民宿でこの地に暮らす皆さんの温かさに触れたことが移住の決め手となりました。

まず取り組みたいのは、地域の皆さんと顔を合わせて、肌で安曇野を知ること。温かい人のつながりに恵まれて私が移住を決断できたように、次は私が移住希望者と安曇野の皆さんをつないでいきたいです。

2歳の娘がいるので、自然あふれる場所で子育てができることも楽しみの一つ。ゆくゆくは家庭菜園や登山に挑戦してみたいです。

表敬訪問

全国で活躍し優秀な成績を収めた皆さんが市役所を訪れ、中山市長に結果を報告しました。（敬称略）

7月1日
JOCジュニアオリンピックカップBMXレーシング2025 13-16 Boys Cruiser 優勝、13-14 Boys 20” 準優勝
上條時幹（穂高西中）

7月6日
第44回JSBA全日本スノーボード選手権大会KENBIKI CUP ハーフパイプU-12 優勝
小野清一朗（穂高北小）

7月8日
第17回全日本ジュニアピアノコンクール▷A課題入選 **髙橋知暉**（穂高西中）▷中級連弾銅賞 **清澤拓真**（穂高西中）・**下里龍聖**（穂高東中）▷初級連弾銀賞 **田村花奏・松澤彩音**（穂高西中）

表彰　安曇野市スポーツ協会

市スポーツ協会（赤羽高明会長）はこのほど令和7年度表彰を発表し、6月25日に表彰式を行いました。受賞者は次の皆さんです。（敬称略・令和7年度時の所属）

【体育功労者表彰】髙橋壽一（穂高壮年ソフトボール連盟）
【特別栄光賞】唐澤実樹、唐澤優花（安曇野総合型地域スポーツクラブスポネット常念）
【栄光賞】奥原夢、下川真由、伊藤望、二木優依奈（大町岳陽高）
【奨励賞】▷三澤岳士、横内勇斗（豊科北中）▷上地城旭（穂高西中）▷洞大和、岡部煌祐、神津瑛亮、北澤結奈（穂高東中）▷今溝大翔、扇谷凌功、清水快晟、河野拓歩、三村虹心（三郷中）▷上井麻央、青柳音旺、岩垂千世、北沢竜梧、村田実優、務台真己、小池一紀（松商学園高）▷宮下結安、宮下和（東海大学付属諏訪高）▷廣瀬誠、滝沢葵、横山美頼（松本県ケ丘高）▷浅川幸風、伊藤千晴（松本蟻ケ崎高）▷片平俊輔（塩尻志学館高）▷大野瑛間、鈴木翔大、内川朝陽（松本第一高）▷斉藤怜生、一志天、降幡光太郎、一志暖、平沢凌生（東京都市大学塩尻高）▷高橋宏太、長島碧志、宮澤諒、井原蒼太、井原琉太（松本筑摩高）▷小林こころ（松本国際高）▷西尾誓（佐久長聖高）

Topics 熱中症対策にも！ アクアスポット swee（スウィー） を設置

ゼロカーボンや脱プラスチックの取り組みとして、信州大学が開発した浄水サーバー「swee」を市役所東入口に設置しました。熱中症クーリングシェルターでの水分補給としてもご利用ください。

■**利用時間**　市役所開庁時間内
費無料　持マイボトル
問環境・ゼロカーボン推進課　TEL71-2085